

ご挨拶

日本生理人類学会第80回大会
大会長 早野 順一郎

日本生理人類学会の会員の皆様におかれましては益々ご健勝のこととお慶び申し上げます。この度、第80回大会を名古屋で開催させていただき運びとなりました。本学会大会はこれまで名古屋で開催されたことがなく、初の名古屋開催となります。

今大会では、1日目の一般公開特別講演として、生理人類学会のキーワードのひとつであります「テクノ・アダプタビリティ」という視点から、神戸大学大学院工学研究科の塚本昌彦教授をお招きし、「ウェアラブルからサイボーグへ:超人類への進化を目指して」というご演題で人類の可能性についてお話しいただきます。また、シンポジウムとして、現在、IoTの拡大によって急速にビッグデータ化しつつある日常活動下の生体信号連続データの意義と活用法を考えるために、東京大学の山本義春教授に司会をお願いし、「生体信号処理の最先端:計測, 分析, 解釈と応用」をテーマに、4人のシンポジストにご登壇いただきます。大会2日目には、教育講演として、「遺伝子と環境適応」と題し、環境要因による遺伝子発現のon-offスイッチの仕組みを中心に、至学館大学健康科学部の三浦 裕教授にお話しをいただきます。そして、大会のフィナーレには、一般公開企画ウイメン・イン・フィジオロジカル・アンソロジー(WIPA)を開催します。この企画では、当領域の新進気鋭の女性研究者にご登壇いただき、生理人類学の学術的な魅力と女性研究者のキャリアについてお話しをいただくとともに、研究者の実情や課題について討論を行います。

大会の一般演題には、様々の分野から興味深く斬新な演題を多数いただきました。多くの活発な議論が交わされることを期待しています。ご参加の皆様には、学会と併せて名古屋の様々な文化や風土にも触れていただける機会になりましたら幸甚でございます。スタッフ一同皆様の参加を心より歓迎し、名古屋での知的で楽しい時間をお過ごしいただきたいと思います。

【協賛企業】

(50音順)

イーストメディック株式会社

インタークロス株式会社

WINフロンティア株式会社

有限会社エスアンドエムイー

株式会社遠藤照明

株式会社クロスウェル

株式会社ジー・エム・エス

株式会社スズケン

太陽工業株式会社

トビー・テクノロジー株式会社

ニホンサンテック株式会社

浜松フォトニクス株式会社

株式会社ミュキ技研

有限会社メディカルトライシステム

メロンテクノス株式会社

【大会実行委員】

大会長 早野 順一郎 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

実行委員長 湯田 恵美 (東北大学大学院工学研究科)

実行委員(50音順)

太田 博樹 (東京大学大学院理学系研究科)

垣鏑 直 (名城大学理工学部)

糸 和彦 (名古屋市立大学大学院薬学研究科)

榊原 清美 (トヨタ自動車株式会社)

中出 美代 (東海学園大学健康栄養学部)

三浦 裕 (至学館大学)

皆川 宗徳 (公社社団法人身体制御学会)

向江 秀之 (株式会社豊田中央研究所)

安河内 彦輝 (三重大学地域イノベーション推進機構)

山田 篤 (公社社団法人身体制御学会)

横山 清子 (名古屋市立大学大学院芸術工学研究科)

吉田 豊 (名古屋市立大学大学院芸術工学研究科)

事務局 古橋 弘一 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

阿知和 奈緒 (名古屋市立大学大学院医学研究科)

【歴代大会長および開催地】

回数	会期	開催地	大会長	備考
第1回	1979年 2月	東京都	吉田 敬一	生理人類学懇話会
第2回	1979年 5月	福岡県	佐藤 方彦	
第3回	1979年 10月	東京都	早弓 惇	
第4回	1980年 5月	茨城県	野村 武男	
第5回	1980年 11月	長崎県	中村 正	
第6回	1981年 6月	東京都	菊池 安行	
第7回	1981年 9月	北海道	横山 真太郎	
第8回	1982年 6月	東京都	吉田 敬一	
第9回	1982年 10月	神奈川県	関邦 博	
第10回	1983年 6月	東京都	吉田 敬一	生理人類学研究会
第11回	1983年 9月	長野県	上田 五雨	
第12回	1984年 5月	東京都	菊池 安行	
第13回	1984年 11月	東京都	八倉 卷和子	
第14回	1985年 5月	福岡県	加地 正郎	
第15回	1985年 11月	茨城県	野村 武男	
第16回	1986年 5月	大阪府	三平 和雄	
第17回	1986年 11月	福岡県	佐藤 方彦	
第18回	1987年 5月	福岡県	緒方 道彦	
第19回	1987年 10月	京都府	登倉 尋實	
第20回	1988年 5月	東京都	早弓 惇	生理人類学会
第21回	1988年 11月	大阪府	弓削 治	
第22回	1989年 5月	三重県	坂本 弘	
第23回	1989年 10月	福島県	田中 正敏	
第24回	1990年 6月	東京都	坂本 和義	
第25回	1990年 9月	兵庫県	古賀 俊策	
第26回	1991年 6月	東京都	大野 静枝	
第27回	1991年 10月	福岡県	川北 和明	
第28回	1992年 6月	東京都	赤松 隆	
第29回	1992年 11月	大阪府	中根 芳一	
第30回	1993年 6月	東京都	飯塚 幸子	
第31回	1993年 11月	北海道	落藤 澄	
第32回	1994年 6月	千葉県	菊池 安行	日本生理人類学会
第33回	1994年 11月	東京都	田村 照子	
第34回	1995年 6月	大分県	矢永 尚士	
第35回	1995年 11月	東京都	中島 利誠	
第36回	1996年 6月	鳥取県	中山 英明	
第37回	1997年 5月	東京都	片岡 洵子	
第38回	1997年 9月	兵庫県	平田 耕造	
第39回	1998年 6月	東京都	梅村 守	
第40回	1998年 11月	秋田県	本橋 豊	

回数	会期	開催地	大会長
第41回	1999年 6月	東京都	飯塚幸子
第42回	1999年 10月	長崎県	竹本泰一郎
第43回	2000年 6月	福島県	田中正敏
第44回	2000年 11月	福岡県	石井勝
第45回	2001年 5月	東京都	宮崎良文
第46回	2001年 10月	大阪府	宮野道雄
第47回	2002年 5月	栃木県	垣鍔直
第48回	2002年 11月	東京都	橋本修左
第49回	2003年 5月	福岡県	藤野武彦
第50回	2003年 10月	千葉県	勝浦哲夫
第51回	2004年 6月	北海道	井上馨
第52回	2004年 10月	東京都	信田聡
第53回	2005年 6月	長崎県	青柳潔
第54回	2005年 10月	宮城県	原田一
第55回	2006年 6月	東京都	工藤奨
第56回	2007年 6月	秋田県	高崎裕治
第57回	2007年 10月	福岡県	安河内朗
第58回	2008年 6月	大阪府	曾根良昭
第59回	2008年 10月	東京都	山崎和彦
第60回	2009年 6月	北海道	横山真太郎
第61回	2009年 9月	東京都	市丸雄平
第62回	2010年 5月	大阪府	井上芳光
第63回	2010年 10月	千葉県	岩永光一
第64回	2011年 6月	福岡県	栃原裕
第65回	2011年 11月	大阪府	小谷賢太郎
第66回	2012年 5月	長崎県	草野洋介
第67回	2012年 10月	東京都	菊池吉晃
第68回	2013年 6月	石川県	藤原勝夫
第69回	2013年 10月	京都府	福岡義之
第70回	2014年 6月	福岡県	綿貫茂喜
第71回	2014年 11月	兵庫県	中村晴信
第72回	2015年 5月	北海道	山内太郎
第73回	2016年 6月	大阪府	岡田明
第74回	2016年 10月	石川県	小林宏光
第75回	2017年 6月	千葉県	下村義弘
第76回	2017年 11月	京都府	若村智子
第77回	2018年 6月	福岡県	樋口重和
第78回	2018年 10月	東京都	恒次祐子
第79回	2019年 6月	東京都	高雄元晴
第80回	2019年 10月	愛知県	早野順一郎

【お知らせ】

会 場: 名古屋市立大学桜山キャンパス 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1

会 期: 2019年10月26日(土), 27日(日)

大会参加費:

	9月30日(月)以前	10月1日(火)以降
正会員	8,000円	9,000円
非会員	10,000円	10,000円
学生会員(大学院生を含む)	3,000円	4,000円
学生非会員	4,000円	5,000円

当日参加:

- ・ 「当日受付」にて, 当日参加申込用紙にご記入の上, 当日参加費をお支払いください。参加証をお渡します。
- ・ 学生として参加申込の際には, 学生証をご提示ください。

概要集:

- ・ 概要集は, 大会当日の受付でお渡しいたします。
- ・ 追加で概要集購入を希望される方は, 1冊 2,000円で販売いたします。大会期間中は大会受付にて, 大会終了後は大会事務局にご連絡ください。
- ・ 本大会概要集に掲載された抄録の著作権は, 発表者に帰属します。

懇親会:

- ・ 日時: 10月26日(土) 18:20～
- ・ 会場: サクラサイドテラス (名古屋市立大学桜山キャンパス内)
名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1, TEL 052-841-8933
- ・ 参加費: 正会員3,500円, 非会員4,000円, 学生(正会員/学生会員/非会員)1,000円
- ・ 大会当日にご参加を希望される場合は, 大会受付にてお申込みください。
- ・ 懇親会へは必ず参加証をつけてご参加ください。

クローク:

名古屋市立大学病院4階第1会議室控室にて, お荷物をお預かりします。なお, 貴重品はお預かりできません。お預かり時間は, 以下の通りです。

10月26日(土) 8:00～17:45

10月27日(日) 8:30～16:25

昼食:

- 10月26日(土) 若手の会(12:15~)および評議員会(12:15~)に参加される方には、無料で昼食を提供いたします。
- 10月27日(日) 展示企業ランチョンプレゼン(12:30~)および研究部会代表者会議(12:30~)に参加される方には、無料で昼食を提供いたします。

その他:

- 会場内では、必ず参加証をつけてください。
- 会場内では、携帯電話はマナーモードにしてください。電源をお切りください。発表内容の無断撮影は原則禁止です。

一般口演の発表要領:

- 発表7分、質疑応答5分です。6分で1鈴、7分で2鈴、12分で3鈴を鳴らします。発表は時間厳守にてお願いします。
- 大会事務局が準備するPCを使ってご発表ください。Windows (OS:Windows 10)のPower Point 2007~2016が使用できます。発表されるセッションの開始15分前までに、発表用ファイルを会場のPCにコピーし、内容を確認してください。
- ご自身のPCを使った発表も可能ですが、アナログ式のVGA (D-Sub15ピン)での接続のみが可能です。会場の機器の特性で、PCのHDMI端子からの出力はD-Sub15ピンへの変換ケーブルを使っても上手く上映できません。PCにD-Sub15ピン端子がない場合は、ご不便をおかけし恐縮ですが、発表用ファイルをUSBメモリで会場のPCにコピーをお願い致します。
- ファイルのコピーは、1日目は8:00から、2日目は8:30から可能です。
- 利益相反がある場合は発表スライド内でその旨を明示してください。

ポスターの発表要領:

- ポスターは、A0判の大きさ(横84.1×縦118.9cm)に収まるように作成し、所定の場所に掲示してください。ポスターを貼り付けるための画鋲は大会事務局が準備します。
- ポスターセッション1およびポスターセッション2の全てのポスター発表者は、以下の時間帯にポスターの掲示と回収をしてください。
- ポスターセッション2のポスターも、1日目から掲示し、ポスターセッション1のポスターも2日目の終了時まで掲示をお願いします。

ポスター掲示	10月26日(土)	08:30~10:30
ポスター回収	10月27日(日)	15:00~18:00

※回収時間終了後に掲示されたままのポスターは事務局で廃棄します。

- 発表者は自分のポスター発表が行われるポスターセッションに出席してください。
- 司会の指示に従い、発表番号順にポスター前で1分間のプレゼンテーションを行ってください。全てのプレゼンテーションが終了した後、ポスターセッション終了時刻までポスター

前に待機し、質疑応答を行ってください。

- 利益相反がある場合はポスター内にその旨を明示してください。

特別講演及びシンポジウム発表者の皆様へ：

- 大会事務局が準備するPCはWindows(OS:Windows 10)です。Power Point 2007～2016が使用できます。このPCを使用される場合は、発表されるセッションの開始15分前までに発表用ファイルをUSBメモリに入れて受付にお持ちください。受付にてファイルのコピーを済ませ、内容を確認してください。
- ご自身のPCを使った発表も可能です。その場合は、演台上で直接接続をしてください。アナログ式のVGA (D-Sub15ピン)での接続のみが可能です。会場の機器の特性で、PCのHDMI端子からの出力はD-Sub15ピンへの変換ケーブルを使っても上手く上映できません。PCにD-Sub15ピン端子がない場合は、ご不便をおかけし恐縮ですが、発表用ファイルをUSBメモリで会場のPCにコピーをお願い致します。
- シンポジウム前の休憩時間などを利用して、試写をお済ませください。

【大会日程】

2019年10月26日(土)

時間	内容	会場
8:00～	受付開始	会場
8:55～9:00	開会	大ホール (病院3階)
9:00～10:30	口演セッション1	大ホール (病院3階)
10:50～12:00 【一般公開】 受付10:00～ 大会参加者は受付不要	特別講演 塚本昌彦(神戸大学大学院工学研究科) 「ウェアラブルからサイボーグへ:超人類への進化を目指して」	大ホール (病院3階)
12:00～13:30	昼休み 12:15～13:15 評議員会 12:15～13:15 若手の会	講義室B (研究棟11階) 第3会議室 (病院4階)
13:30～14:30	ポスターセッション1	第1会議室 (病院4階)
14:35～15:35	口演セッション2	大ホール (病院3階)
15:40～17:50	シンポジウム 「生体信号処理の最先端:計測, 分析, 解釈と応用」	大ホール (病院3階)
18:20～	懇親会	サクラサイドテラス (西棟1階)

2019年10月27日(日)

時間	内容	会場
8:30～	受付開始	会場
9:00～10:00	口演セッション3	大ホール (病院3階)
10:10～11:05	教育講演 三浦 裕 (至学館大学健康科学学部) 「遺伝子と環境適応」	大ホール (病院3階)
11:10～12:20	総会・授賞式	大ホール (病院3階)
12:20～13:50	昼休み 12:30～13:40 展示企業ランチョンプレゼン 12:30～13:40 研究部会代表者会議	大ホール (病院3階) 第4会議室 (病院10階)
13:50～14:50	ポスターセッション2	第1会議室 (病院4階)
15:00～16:00 【一般公開】 受付14:00～ 大会参加者は受付不要	ウイメン・イン・フィジオリジカル・アンソロポロジー(WIPA)	大ホール (病院3階)
16:00	閉会	大ホール (病院3階)

関連会議等

10月25日(金)

14:00～17:00	理事会	第4会議室 (病院10階)
15:00～18:00	若手研究者講演会	第3会議室 (病院4階)

10月26日(土)

12:15～13:15	評議員会	講義室B (研究棟11階)
12:15～13:15	若手の会	第3会議室 (病院4階)

10月27日(日)

11:10～12:20	総会	大ホール (病院3階)
12:30～13:40	展示企業ランチョンプレゼン	大ホール (病院3階)
12:30～13:40	研究部会代表者会議	第4会議室 (病院10階)

以下の会議, 企画では無料で昼食を提供いたします。

10月26日(土)

評議員会
若手の会

10月27日(日)

展示企業ランチョンプレゼン
研究部会代表者会議

【会場までのアクセス】

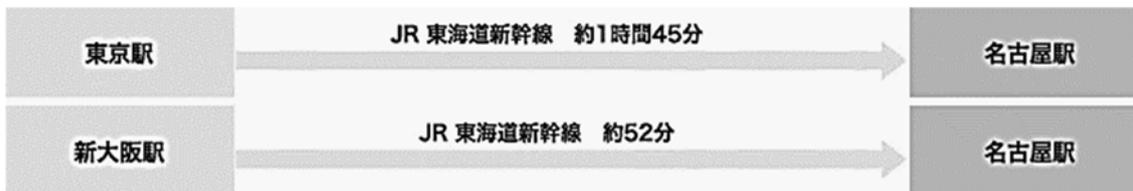
名古屋市立大学桜山キャンパス(名古屋市立大学病院)への交通アクセス

名古屋駅までのアクセス

航空機利用の場合



鉄道利用の場合



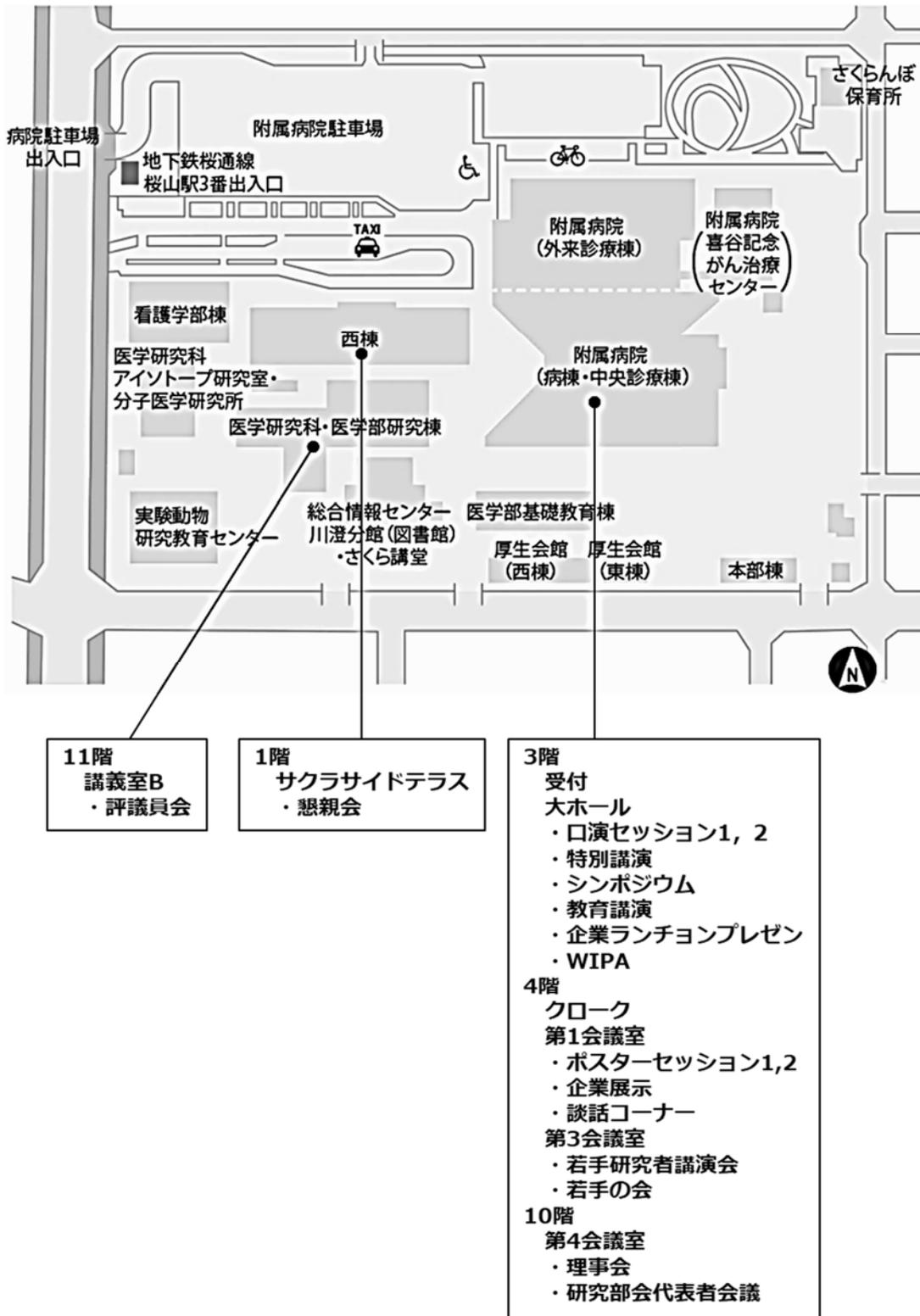
名古屋駅から桜山キャンパスまでのアクセス

名古屋市営地下鉄 桜通線・徳重行にて 9駅, 17分
「桜山」駅 下車 3番出口よりすぐ



所在地: 〒467-8602 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1
名古屋市立大学桜山キャンパス 名古屋市立大学病院

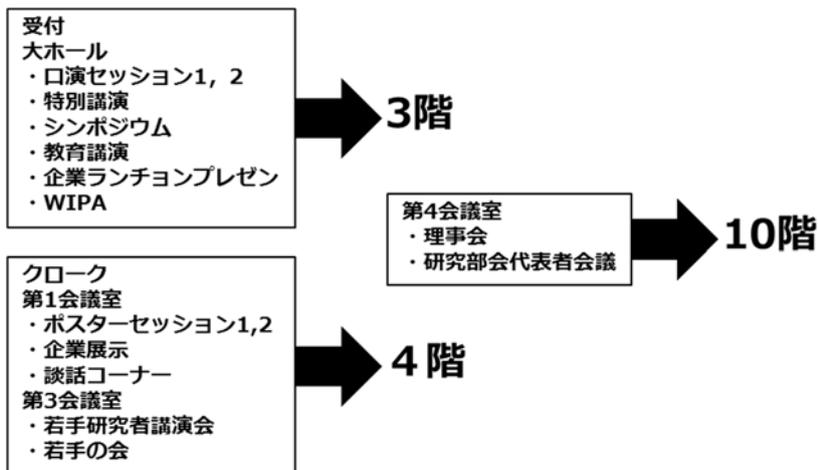
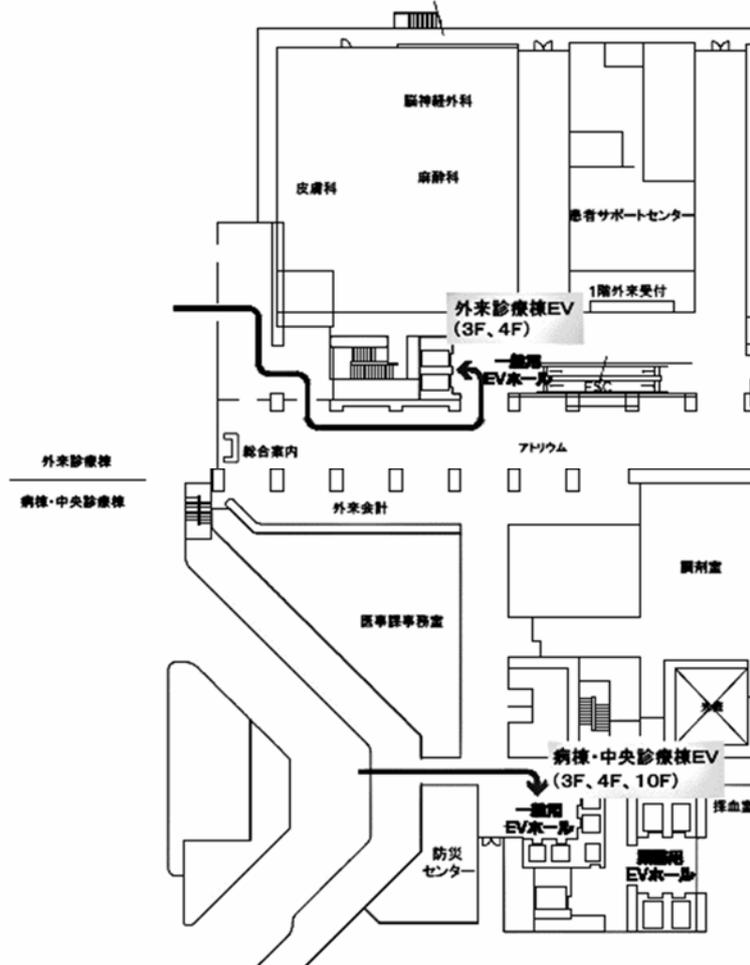
【桜山キャンパス内マップ】



(備考) 駐車場は病院の面会者用で台数に限りがあり、有料です。お車でのご来場はご遠慮いただき、公共の交通機関等をご利用ください。

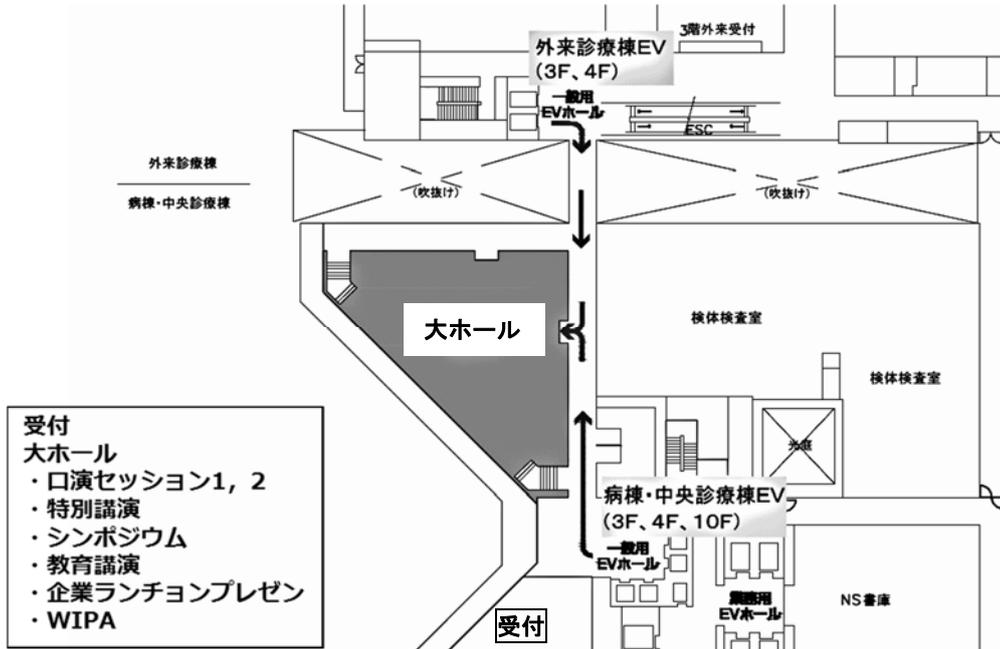
【会場建物内】

附属病院 (病棟・中央診療棟) 1階

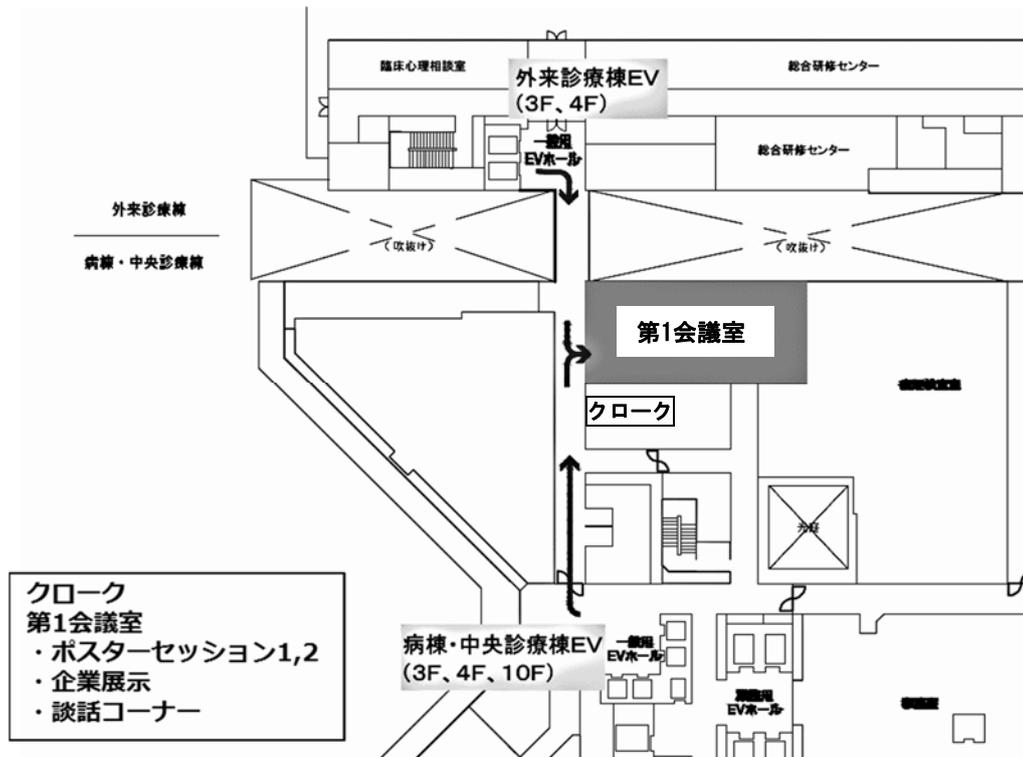


【会場建物内】

附属病院 (病棟・中央診療棟) 3階 (大ホール)

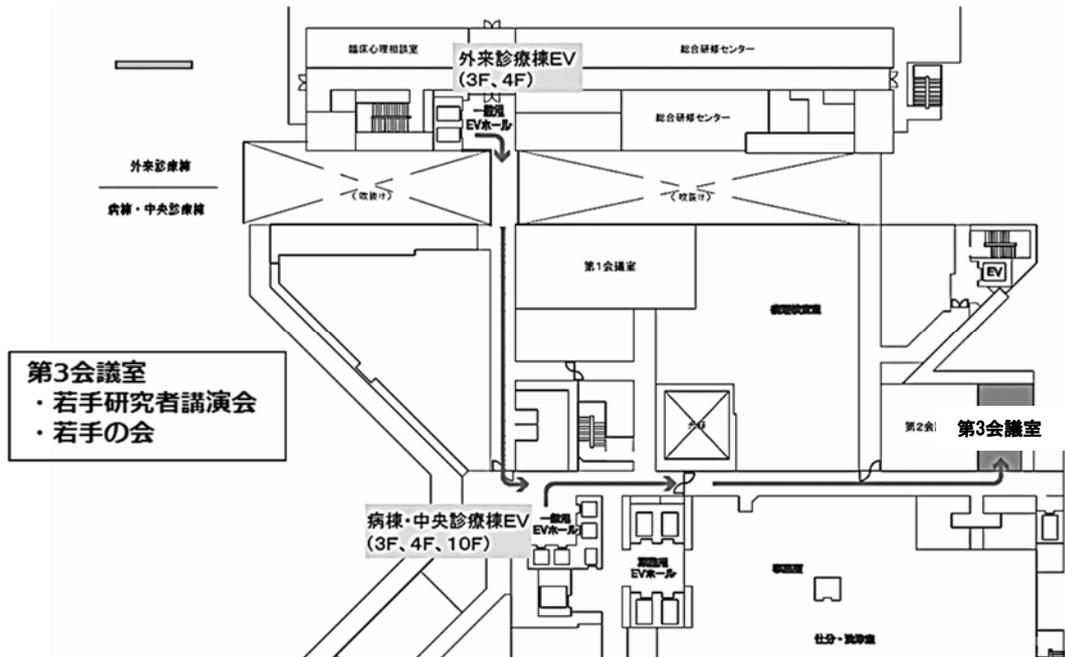


附属病院 (病棟・中央診療棟) 4階 (第1会議室)

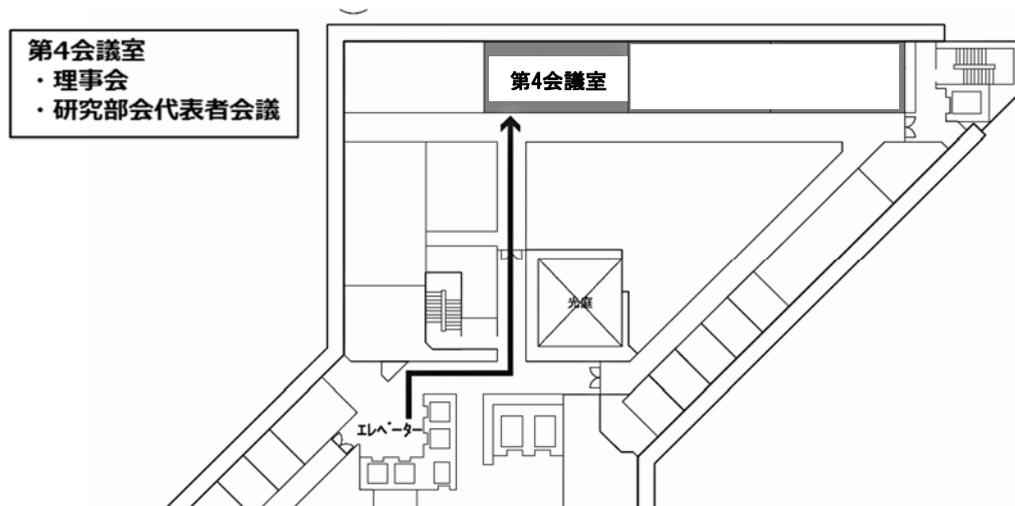


【会場建物内】

附属病院（病棟・中央診療棟）4階（第3会議室）



附属病院（病棟・中央診療棟）10階（第4会議室）



【懇親会会場のご案内】

サクライサイドテラス (名古屋市立大学桜山キャンパス内)

名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1 電話 052-841-8933

【大会会場と同じキャンパス内】

病棟・中央診療等(大会会場) 1階玄関を出て、正面右手のビル(西棟)の自動ドアに入る
1階の廊下を50mを進み右手



【プログラム 大会1日目】

大会1日目 10月26日(土)

開会 8:55

口演セッション 1

9:00~10:30

3階 大ホール

座長:樋口 重和 (九州大学)

O1-01 暗算課題負荷による前頭部血行動態変化を用いたNIRS-based Brain-Computer Interface構築の基礎的検討

増尾明^{1,2,3}, 加賀翔太郎², 加藤昇平^{2,3}

- 1)名古屋医健スポーツ専門学校 2)名古屋工業大学大学院工学研究科情報工学専攻
3)名古屋工業大学情報科学フロンティア研究院

O1-02 DC脳波計を用いた定常視覚誘発電位(SSVEP)による意思表示の試み

栗山 龍也¹

- 1)イーストメディック株式会社

O1-03 動作観察時の脳活動にmu波ニューロフィードバック訓練が与える影響

池田悠稀¹, 申夔敬¹, 西村悠貴², 樋口重和³

- 1)九州大学大学院統合新領域学府 2)労働安全衛生総合研究所 3)九州大学大学院芸術工学研究院

O1-04 表情と視線の相互作用がワーキングメモリ課題中のFm θ 波に及ぼす影響

柏原考爾¹, 松田佳尚²

- 1)徳島大学社会産業理工学研究部 2)同志社大学(現所属:白梅学園大学)

O1-05 A Study on Frontal Alpha Rhythm during Building of LEGO Bricks in the Environment Added with White Noise Sound

Abdulla Alqaydi¹, Motoharu Takao²

- 1)東海大学大学院工学研究科 2)東海大学情報理工学部

大会1日目 10月26日(土)

O1-06 動きを強調した背景の加工が運動印象および事象関連電位に与える影響

上原貴寛¹⁾, 池田悠稀¹⁾, 吉田尚央²⁾, 樋口重和²⁾

1) 九州大学大学院 統合新領域学府 2) 九州大学大学院 芸術工学研究院

O1-07 三次元空間における迷路学習の指標に瞬目はなりうる

高雄元晴¹⁾, 石黒知秀¹⁾

1) 東海大学情報理工学部

司会:金子 格 (名古屋市立大学)

特別講演 (一般公開)

10:50~12:00

3階 大ホール

「ウェアラブルからサイボーグへ:超人類への進化を目指して」

塚本 昌彦 (神戸大学大学院工学研究科電気電子工学専攻)

ポスターセッション 1

13:30~14:30

4階 第1会議室

司会:安河内 彦輝 (三重大学)

P1-01 Effects of Taekwondo Training on Health-Related Physical Fitness, Cardiovascular Risk Factors and Epicardial

Adipose Tissue in Hypertensive Elderly Women

Do-Kyum Min¹⁾, Yoon-Hwan Kim¹⁾, Seon-Hong Baek¹⁾, Hyun-Hun Jung¹⁾, Min-Ki Jeong¹⁾, Seong-Dae Ahn¹⁾, Se-Eun Kim¹⁾, Garam Hong¹⁾, Eun-Hee Kim¹⁾, Sang-Kab Park¹⁾

1) Dong-A University

P1-02 Effect of Taekwondo on Gait Speed, Cognitive Function and Psychological Factors in Older Women with Sarcopenia

Garam Hong¹⁾, Seon-Hong Baek¹⁾, Hyun-Hun Jung¹⁾, Min-Ki Jeong¹⁾, Yoon-Hwan Kim¹⁾, Seong-Dae Ahn¹⁾, Se-Eun Kim¹⁾, Do-Kyum Min¹⁾, Eun-Hee Kim¹⁾, Sang-Kab Park¹⁾

1) Dong-A University

大会1日目 10月26日(土)

P1-03 Effects of Silver Taekwondo Program on Insulin resistance, Self-reliance Fitness and Thigh muscle mass in Elderly Women with Metabolic Syndrome

Se-Eun Kim¹⁾, Jae-Hyun Park¹⁾, Hyun-Hun Jung¹⁾, Min-Ki Jeong¹⁾, Yoon-Hwan Kim¹⁾, Seon-Hong Baek¹⁾, Seong-Dae Ahn¹⁾, Do-Kyum Min¹⁾, Garam Hong¹⁾, Eun-Hee Kim¹⁾, Sang-Kab Park¹⁾¹⁾

1) Dong-A University

P1-04 視覚刺激に対するペダル操作反応の加齢による変化

太田順啓¹⁾, 大野僚介¹⁾, 近藤拓海¹⁾, 田中淳也¹⁾, 吉田豊²⁾, 湯田恵美^{1,3)}, 早野順一郎⁴⁾

1) 名古屋市立大学医学部 2) 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

3) 東北大学大学院工学研究科 4) 名古屋市立大学大学院医学研究科

P1-05 記憶再生, 視線移動, 負担からのモニター画面の表示位置に関する検討

本多 薫¹⁾, 門間政亮²⁾

1) 山形大学人文社会科学部 2) 宇部フロンティア大学短期大学部

P1-06 Psychomotor vigilance testに対する反応時間を構成する神経系の情報処理および伝達時間の推定

近藤拓海¹⁾, 大野僚介¹⁾, 太田順啓¹⁾, 田中淳也¹⁾, 吉田豊²⁾, 湯田恵美^{1,3)}, 早野順一郎⁴⁾

1) 名古屋市立大学医学部 2) 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

3) 東北大学大学院工学研究科 4) 名古屋市立大学大学院医学研究科

P1-07 テキスト情報における内容理解の促進に関する検討

本多 薫¹⁾, 本多ふく代²⁾

1) 山形大学人文社会科学部 2) 東北文化学園大学医療福祉学部

P1-08 高齢者の片脚立位姿勢における身体重心動揺と圧中心の逆応答距離との関連性

竹内弥彦¹⁾, 藤尾公哉¹⁾

1) 千葉県立保健医療大学健康科学部

P1-09 脳血流調節反応の測定精度について: 正弦波様血圧変動と自発性血圧変動との比較

石橋圭太¹⁾, Jason W. Hamner²⁾, Can Ozan Tan^{2,3)}, 岩永光一¹⁾

1) 千葉大学大学院工学研究院 2) Cerebrovasc Res Lab, Spaulding Hospital Cambridge

3) Dept Physical Med & Rehab, Harvard Medical School

大会1日目 10月26日(土)

P1-10 生体信号処理に適した周期信号解析アルゴリズムFVSの性能評価

小久保 律樹¹⁾, 神谷 幸宏¹⁾

1) 愛知県立大学 情報科学部 情報科学科

P1-11 日中の青色光曝露が夜間のメラトニン分泌に及ぼす影響

中本五鈴¹⁾, 初治沙矢香¹⁾, 松山洸斗²⁾, 石黒脩史³⁾, 石田千咲³⁾, 長谷川陽菜³⁾, 繁田郁穂³⁾, 若村智子¹⁾

1) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

2) 京都大学医学部附属病院看護部 3) 京都大学医学部人間健康科学科

P1-12 LED照明の青色光含有率の違いがヒトの覚醒度に与える影響

安藤唯菜¹⁾, 夏亜麗²⁾, 岡田隆³⁾, 南雲博文³⁾, 下村義弘²⁾

1) 千葉大学工学部 2) 千葉大学大学院工学研究院

3) 日立グローバルライフソリューションズ株式会社

P1-13 模擬的夜勤時の光曝露による概日リズムの位相後退の個人差

眞子 杜都¹⁾, 大橋 路弘¹⁾, 江藤 太亮¹⁾, 西村悠貴^{1,3)}, 李 相逸^{2,4)}, 樋口 重和²⁾

1) 九州大学大学院統合新領域学府 2) 九州大学大学院 芸術工学研究院

3) 労働安全衛生総合研究所 4) 北海道大学大学院 工学研究院

P1-14 計算作業時に好まれる照度の日内変化に関する実験的研究

水谷元一¹⁾, 垣鏑 直¹⁾, 石井 仁¹⁾

1) 名城大学理工学部環境創造学科

P1-15 読書時に選択された照明条件の日内変化に関する実験的研究

垣鏑 直¹⁾

1) 名城大学理工学部環境創造学科

P1-16 実生活におけるメラノプシンを含む網膜神経節細胞への一日を通じた光刺激制御が夜間のメラトニン分泌挙

動および睡眠へ及ぼす影響

田中みどり¹⁾, 福田 裕美²⁾, 森田 健¹⁾

1) 福岡女子大学大学院人間環境科学研究科 2) 広島修道大学人間環境学部

大会1日目 10月26日(土)

P1-17 ブルーライトの入射角と自律神経効果

大野僚介¹⁾, 太田順啓¹⁾, 近藤拓海¹⁾, 田中淳也¹⁾, 吉田豊²⁾, 湯田恵美^{1,3)}, 早野順一郎⁴⁾

- 1) 名古屋市立大学医学部
- 2) 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科
- 3) 東北大学大学院工学研究科
- 4) 名古屋市立大学大学院医学研究科

P1-18 ブルーライトは運動後のHeart Rate Recoveryを促進する

田中淳也¹⁾, 大野僚介¹⁾, 太田順啓¹⁾, 近藤拓海¹⁾, 吉田豊²⁾, 湯田恵美^{1,3)}, 早野順一郎⁴⁾

- 1) 名古屋市立大学医学部
- 2) 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科
- 3) 東北大学大学院工学研究科
- 4) 名古屋市立大学大学院医学研究科

口演セッション 2

14:35~15:35

3階 大ホール

座長: 横山 清子 (名古屋市立大学)

O2-01 心拍変動による自律神経バランス評価のt検定p値と呼吸規則性との関係

山下幸祐¹⁾, 中村知徳²⁾, 貴志浩久³⁾, 不破輝彦³⁾

- 1) 職業能力開発総合大学校職業能力開発研究学域
- 2) (独)高齢・障害・求職者雇用支援機構中部職業能力開発促進センター
- 3) 職業能力開発総合大学校能力開発院

O2-02 複数人による自律神経系活動の簡易同時計測システムの開発

沖田善光¹⁾, 小島一彦²⁾, 森下雄斗¹⁾, 吉野朱香¹⁾, 小原久未子³⁾, 中村晴信⁴⁾

- 1) 静岡大学工学部
- 2) 浜松計測制御センター
- 3) 近畿大学医学部
- 4) 神戸大学大学院・人間発達環境学研究科

O2-03 空腹期と食後期の胃電図の比較

穴井洋子¹⁾, 横山清子¹⁾

- 1) 名古屋市立大学大学院芸術工学研究科

O2-04 睡眠中の各ステージにおける多チャンネル胃電図の解析の試み

栗山 龍也¹⁾, 栗田俊治¹⁾

- 1) イーストメディック株式会社

大会1日目 10月26日(土)

シンポジウム

15:40~17:50

3階 大ホール

司会:山本義春(東京大学)

コーディネータ:早野順一郎(名古屋市立大学)

「生体信号処理の最先端:計測, 分析, 解釈と応用」

S-01「IoT時代の生体計測を意識した新しい信号解析法ARSとその展開」

神谷 幸宏 (愛知県立大学)

S-02「ウェアラブル心拍計を活用した心拍数・心拍変動解析」

清野 健 (大阪大学)

S-03「日常生活下における身体加速度データの健康・医療分野への利活用」

中村 亨 (大阪大学)

S-04「生体信号解釈と応用についての最近の展開」

百瀬桂子 (早稲田大学)

懇親会 18:20 西棟 1階 サクラサイドテラス

【プログラム 大会2日目】

大会2日目 10月27日(日)

口演セッション 3

9:00~10:00

3階 大ホール

座長:若林 斉(北海道大学)

O3-01 エストラジオール濃度と衣服量が寒冷時の生理反応と精神作業成績に与える影響

廣田有香¹⁾, 胡少營¹⁾, 前田享史²⁾

1) 九州大学大学院芸術工学府 2) 芸術工学研究院

O3-02 東北地方山間部に住む児童の身体活動量の季節間の違いについて

黒川修行¹⁾, 高瀬佳実¹⁾, 小宮秀明²⁾

1) 宮城教育大学教育学部保健体育講座 2) 宇都宮大学教育学部保健体育分野

O3-03 女性高齢ランナーにおける運動時の汗イオン再吸収能力

井上 芳光¹⁾, 鎌田 和¹⁾, 立石 有穂¹⁾, 濱田 奈穂¹⁾, 一之瀬 智子¹⁾, 上田 博之²⁾

1) 大阪国際大学 2) 大阪信愛学院短期大学

O3-04 動脈硬化関連一塩基多型(rs3782886)と低身長の関係

清水悠路^{1,2)}, 有馬和彦¹⁾, 野口優子¹⁾, 小屋松淳¹⁾, 山梨啓友¹⁾, 川尻真也¹⁾, 前田隆浩¹⁾

1) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科 2) 大阪がん循環器病予防センター

教育講演

10:10~11:05

3階 大ホール

司会:早野 順一郎(名古屋市立大学)

「遺伝子と環境適応」

三浦 裕(至学館大学健康科学部栄養科学科)

大会2日目 10月27日(日)

ポスターセッション 2

13:50~14:50

4階 第1会議室

司会:福田 裕美(広島修道大学)

P2-01 自転車エルゴメーター駆動時の主観的運動強度と実測心拍数との関係(第6報)

泉敏郎^{1,2)}, 渡邊紳一^{2,3)}, 松尾崇^{2,3)}, 西村宗修³⁾, 高橋龍尚⁴⁾

1)帝京平成大学現代ライフ学部 2)神奈川工科大学大学院工学研究科

3) 神奈川工科大学工学部 4) 旭川医科大学医学部

P2-02 健康腕時計の体型別の消費エネルギー量の換算係数の検討

森みのり¹⁾, 澤井明香¹⁾, 小山田冴恵¹⁾, 渡邊海斗¹⁾, 朽久保修²⁾

1) 神奈川工科大学 応用バイオ科学部 栄養生命科学科 2) 横浜市立大学医学部

P2-03 日本人大学生アスリートのクロノタイプの違いが、主観的運動パフォーマンスおよび生活リズムに及ぼす影響

松島佳子^{1,2)}, 田辺峻也, 土屋絵理³⁾, 中島里奈⁴⁾, 中村優里⁵⁾, 馬淵たまみ⁶⁾, 若村智子²⁾

1) 愛知淑徳大学健康医療科学部 2) 京都大学大学院医学研究科人間健康科学系専攻

3) 株式会社宣通 4) 株式会社ヤクルト東海 5) 株式会社LAVA International

6) 株式会社タートル

P2-04 幼児や老人を対象とした非接触生体計測のためのぬいぐるみ型センサの開発と性能評価

馬路泰輔¹⁾, 野田由佳里²⁾, 柴崎かがり³⁾, Nigel Marshall⁴⁾, 米澤克也⁵⁾, 渡辺慶一郎⁶⁾, 神谷幸宏¹⁾

1) 愛知県立大学 情報科学部 情報科学科

2) 聖隷クリストファー大学 社会福祉学部 社会福祉学科 3) Department of Psychology, University of Huddersfield 4) School of Education and Social Work, University of Sussex

5) 伊藤電機株式会社 6) KCジャパン

大会2日目 10月27日(日)

P2-05 非接触生体センサ特性を用いた眠気予兆検出に関する基礎的研究

吉田 豊¹⁾, 湯田 恵美^{2,3)}, 佐藤 達彦⁴⁾, 上拾石 弘⁴⁾, 早野 順一郎³⁾

- 1)名古屋市立大学大学院芸術工学科 2)東北大学大学院工学研究科
- 3)名古屋市立大学大学院医学研究科 4)株式会社SNAPSHOT

P2-06 ホルター心電計の内蔵3軸加速度センサのCNNによる活動識別の検討

金子 格¹⁾, 吉田 豊²⁾, 湯田 恵美³⁾

- 1)名古屋市立大学大学院医学研究科 2)名古屋市立大学大学院芸術工学研究科
- 3)東北大学大学院工学研究科

P2-07 ポリビア高地集団におけるEGLN1およびSENPI遺伝子多型と循環系との関連

安河内 彦輝¹⁾, 西村 貴孝²⁾, 大西 真由美²⁾, 西原 三佳²⁾, Juan Ugarte³⁾, 福田 英輝⁴⁾, 青柳 潔²⁾

- 1) 三重大学地域イノベーション推進機構 2) 長崎大学大学院医歯薬学総合研究科
- 3) サン・アンドレス大学 4) 国立保健医療科学院

P2-08 急性低圧低酸素曝露に対する唾液由来遺伝子発現変動

安河内 彦輝¹⁾, Sora Shin²⁾, 若林 齊³⁾, 前田 享史⁴⁾

- 1) 三重大学地域イノベーション推進機構 2) 九州大学大学院芸術工学府
- 3) 北海道大学大学院工学研究院 4) 九州大学大学院芸術工学研究院

P2-09 無垢フロア材とシートフロア材への足裏接触が生体に及ぼす影響:生理応答と主観評価の関係

池井晴美¹⁾, 宮崎良文²⁾

- 1) (国研)森林研究・整備機構森林総合研究所
- 2) 千葉大学環境健康フィールド科学センター

大会2日目 10月27日(日)

P2-10 仮眠環境の違いがパフォーマンスに及ぼす影響

安藤 翠¹⁾, 野々村琢人¹⁾, 志村洋二¹⁾, 小宮明子¹⁾

1) 西川株式会社 日本睡眠科学研究所

P2-11 清拭における乾拭の有無が及ぼす生理的・主観的反応

黒川雄平¹⁾, 立石礼望¹⁾, 東八千代¹⁾, 廣瀬仁美²⁾, 能登裕子³⁾, 橋口暢子³⁾

1) 九州大学大学院医学系学府保健学専攻 2) 九州大学医学部保健学科看護学専攻

3) 九州大学大学院医学研究院保健学部門看護学分野

P2-12 夏の身体づくりのための入浴法

小番美鈴¹⁾, 吉岡涼介¹⁾, 石澤太市¹⁾, 綱川光男¹⁾

1) 株式会社バスクリン 製品開発部

P2-13 快感情の生理応答に対する動脈波解析適用の試み

山下 政司¹⁾, 相川 武司¹⁾, 渡邊 翔太郎¹⁾, 菅原 俊継¹⁾, 北間 正崇¹⁾, 横山 徹¹⁾

1) 北海道科学大学

P2-14 育児期の保護者の日中の眠気と睡眠習慣

竹内日登美¹⁾, 原田哲夫¹⁾, 川俣美砂子¹⁾, 田中秀吉²⁾, 中出美代³⁾

1) 高知大学教育学部 2) 修文大学短期大学部生活文化学科

3) 東海学園大学健康栄養学部

P2-15 定期試験のストレスが味覚・辛味感覚に与える影響の検討

武藤優菜¹⁾, 澤井明香¹⁾, 佐野史弥¹⁾, 朽久保修²⁾

1) 神奈川工科大学応用バイオ科学部 2) 横浜市立大学医学部

大会2日目 10月27日(日)

P2-16 3～5歳の幼児を持つ母親の就業状況と睡眠問題、育児ストレスの関係

中出美代¹⁾, 原田哲夫²⁾, 川俣美砂子²⁾, 田中秀吉³⁾, 黒谷万美子⁴⁾, 服部しげこ⁵⁾, 竹内日登美³⁾

- 1) 東海学園大学健康栄養学部 2) 高知大学教育学部
- 3) 修文大学短期大学部生活文化学科 4) 高知大学教育学部
- 5) 愛知淑徳大学健康医療科学部

P2-17 地域在住年長者におけるミョウガの習慣的摂取を実現するレシピ開発

阿部雅子¹⁾, 佐藤香苗¹⁾

- 1) 東都大学管理栄養学部

P2-18 生活習慣改善の頭髪の抜け毛本数への影響に関する臨床研究

岩田淳¹⁾, 小柳好未¹⁾

- 1) 株式会社日本ナチュラルエイジングケア研究所

ウィメン・イン・フィジオロジカル・アンソロポロジー (WIPA) (一般公開)

15:00～16:00

3階 大ホール

司会:湯田 恵美 (東北大学)

W-01 ヒト脳機能研究を軸とした研究生活のこれまでとこれから

江頭 優佳 (国立精神・神経医療研究センター 精神保健研究所知的・発達障害研究部)

W-02 生理人類学から見た遺伝的背景の違いと事象関連電位との関連

本井 碧 (九州大学大学院芸術工学研究院)

閉会 16:00